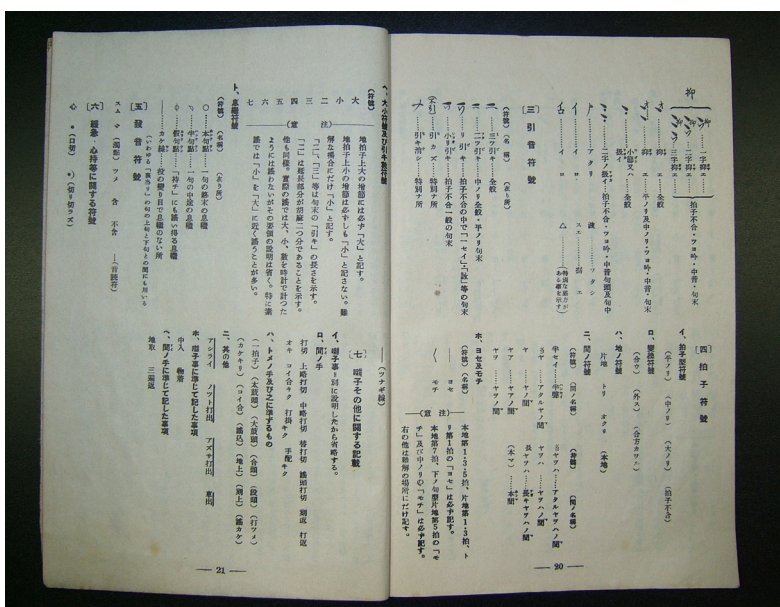
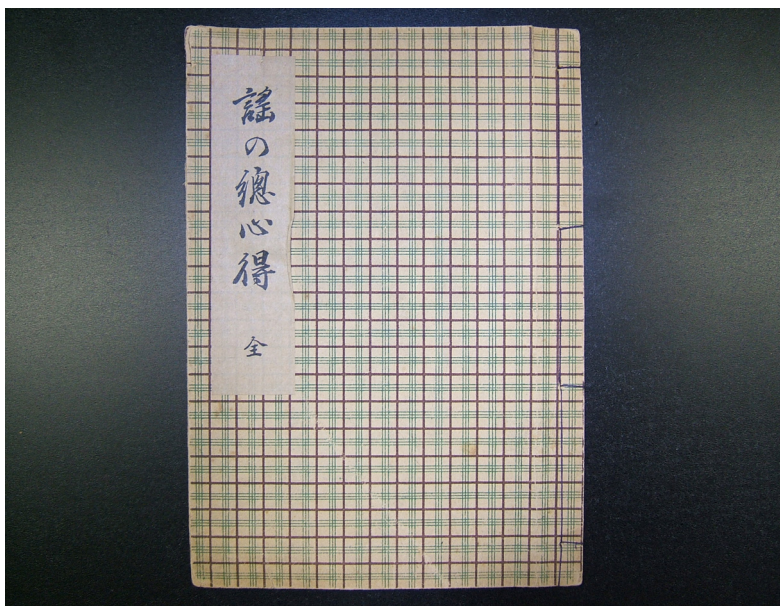


丸岡明 『謡の総心得』

観世流改訂本に附属する本。稽古の注意、作法、服装から始まり、謡の常識として、役、小段、曲柄、囃子事、音階等に触れる。続いて、謡本の符号略解がある。写真下はそのうち、拍子符号の部分。ヨセやモチをどの場所に記すか等、これまで常識として省略されていたことが明確に示されている。改訂本の合理的精神が基本的につらぬかれ、戦後にいたってさらに増強されていることが伺われる。



標題 内題…謡の総心得

標題紙…

奥附…観世流新稽古本

その他…謡の総心得 全(題簽)

著者 奥附…丸岡明(著作権者)

その他の場所…

出版 版次…第一版

出版地…東京

出版社…能楽書林(版元)

出版年…昭和29(1954)

その他の場所…

形態 冊数…一冊 頁数…二二頁

寸法…21×15 (cm)

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

備考